

第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画（素案）についての意見募集結果（案）

参考資料(1)

第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画（素案）について、道民意見提出手続きにより、令和4年12月2日から令和5年1月3日の期間、道民の皆様から御意見を募集したところ、2団体及び2人から、延べ6件の御意見が寄せられました。

御意見の要旨及び御意見に対する道の考え方（案）については、次のとおりです。

※ 区分は次のとおり

A	意見を受けて素案を修正したもの
B	素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	素案に取り入れなかったもの
E	素案の内容についての質問等

番号	ページ・行	該当項目	意見の概要	意見に対する道の考え方（案）	区分
1	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	国際疾病分類は正式名称である「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」を用いるべきである。 厚生労働省は現時点で「ゲーム障害」を疾病とはしておらず、略称を用いることで、ゲーム障害が疾病の一部であるとの誤認を与える可能性があるためである。また、行政の計画であることからも正式名称を用いることが望ましい。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正案) 近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中しのめり込んでしまう、いわゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD-11)」に「ゲーム障害」が加わりました。	A
2	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	この文章では、ゲーム課金を繰り返すことと「ゲーム障害」が関係があるように読めるが、WHOのICD-11の定義において、「ゲーム障害」の定義に課金などの要素は含まれておらず、誤解を招かないように文章を修正するべきである	ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正案) 近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中しのめり込んでしまう、いわゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD-11)」に「ゲーム障害」が加わりました。	A
3	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	ICD-11における「ギャンブル障害」と「ゲーム障害」は別の判断基準によって厳密に分類されており、「ゲーム障害」は明確な科学的裏付けが存在していないことが厚労省答弁でも明らかである点から、より慎重に「ゲーム障害」という言葉を用いるべきである。	WHOのICD-11（2019年5月第72回WHO世界保健総会採択、2022年1月正式発効）で「ゲーム障害」が新たに疾患として追加されていることから、現状認識の説明に使用しております。 また、オンラインによるギャンブル、ゲームについては、それらののめり込みから経済問題につながることもあり、そのプロセスや関連する問題に似たところがあるため、現状認識で記載しております。 なお、ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正案) 近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中しのめり込んでしまう、いわゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD-11)」に「ゲーム障害」が加わりました。	A
4	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	公営ギャンブルとパチンコ依存症対策にゲーム障害関係ないものがありギャンブル依存症とゲーム障害を区別されてないというのは依存症に対しての知識が疎かになっているのを表しています。第一ゲーム障害もかなり間違った知識が多くこのまま案を通すのであれば社会に混乱を招きます。	公営競技のオンライン投票による売上が伸びていることや、オンラインによるゲームのめり込み、生活に支障をきたしている方からの相談や、受診される方もいるといった実情を踏まえ、「現状」について記載しております。なお、ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正案) 近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中しのめり込んでしまう、いわゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD-11)」に「ゲーム障害」が加わりました。	A

番号	ページ・行	該当項目	意見の概要	意見に対する道の考え方（案）	区分
5	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	IT社会においてインターネットを 殊更に悪いもののように扱う事には 疑問を感じます。 若年者は元より高齢者にもメディ アリテラシー教育の充実を図るべき ではないでしょうか。	インターネットについては、現代社会において不可欠な ものと認識しており、適切に利用することが重要と考えて おります。 本計画では、インターネットによる公営競技のオンライン 投票が大変身近となっていることに関し、関係事業者による アクセス制限の強化や、オンラインによるギャンブルの特徴やリスクについて普及啓発を行うこととしておりま す。	C
6	P12	(3) 現状認識 ・近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題となっているほか、ゲームやインターネットといった特定の行為や過程に必要以上に熱中し、のめり込んでしまう「プロセスへの依存」が認識されてきているとともに、インターネットでのゲームに勝つために課金を繰り返す問題もでてきており、2019年5月に国際疾病分類に「ゲーム障害」が加わりました。	厚生労働省は現時点で「ゲーム障害」を疾患とはしていません。 またこの「ゲーム障害」は香川県の例のように、一部の医療研究者とマスメディアによる恐怖扇動的に伝えられています。 世界的にe-Sports振興が広まる中、日本がこれに取り残されないよう、行政には慎重に取り扱っていただきたく、お願いいたします。	WHOのICD-11（2019年5月第72回WHO世界保健総会採 択、2022年1月正式発効）で「ゲーム障害」が新たに疾患と して追加されていることから、現状認識の説明に使用して おります。 また、オンラインによるギャンブル、ゲームについては、それらのめり込みから経済問題につながることもあり、そのプロセスや関連する問題に似たところがあるため、現状認識で記載しております。 なお、ご意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正案) 近年は、公営競技におけるインターネット投票の急速な 拡大から、投票サイトにおける注意喚起表示等が課題と なっているほか、ゲームやインターネットといった特定の 行為や過程に必要以上に熱中しのめり込んでしまう、いわ ゆる「プロセスへの依存」が認識され、2019年5月に「疾 病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD-11)」に「ゲーム 障害」が加わりました。	A